

213

二

全

日  
案  
引  
草  
全









二番子の所系礼々より汲所あり右の方山神木不獲テ  
堂きて所廣門元右所五るき所相殿以所法信もま  
能人相し其るすたて所系中々うあると中く種業  
法人うじそれより中向て仁王所門不出右ののこ  
形新字多場といふは通う右の上不相通とて何ぞ  
少一行く新字多居所額ハ敷一寺正位日光大権現  
所座より宮極所築ありそれより二佛堂是ハ日光  
之社乃所本地仏より山の大うらん方よりひて  
新之天権現日光之社の寺あり所本社法相殿より未社  
神室より一甫の方には別不安書院より肉より多分の文殊  
有り新字多より西一行く船の尾乃より板以所甫乃  
うこ少し新く考新堂於朝日の島を納む日ありひ  
法法堂是と云きといひその向ひを通う坂上小急服大  
所堂ありび不法代々所座主の所形ありふりとは別處  
兵馬院叔二書西は古番所むくふ仁王所門乃其安  
四年四月廿日の所系屋あり系信なるありはせらるる

あるとくは信極は地内は別不祐光院水の坂上小表門  
は別階の尾乃あり是より坂中小眼洗茶師書水ゆる  
能人眼を洗ふ乃の丸ゆる上と未茶師堂よりあり  
はあま流は能人体是はく小役の行共堂乃右の方古番所  
それ乃坂の下に助遠橋ありよりより交を極ははし行く  
○山五社○不動堂丸くよ○そうあると云文石坂とのあり  
は別不日光妻の乃く乃石の書唐殿ハ至門は別女神中宮  
法法大師乃法集之相殿所本社利階尾大権現日光之社  
の中宮より神室本社ありははじりふ本松のりり是  
之社の神基之子孫名衆が何酒氣ありは外未社法より下  
筋遠橋小度より道不板表松柄漸門法行の碑是ハ  
園より所信の法あり○丸の方はより名法方より  
法天林の社ありふりふり外山毘沙門天兼小倉山  
は殿あり所産の文より未社乃是と未山坊舎は思共堂  
又少し新く本系の境内ハ四率統寺務乃上人乃寺也









三浦山

三本松

布別

七

七

三本松

如翠山

久

大日堂

子

一本松

三本松

三本松

山

別

尾

王

山

山

山

山

山

山





三ヶ塔の本社刻年未だ推定  
 日光二社の才之あり并殿末社  
 神室ありそれより香居と出て  
 小別ありは所と光へり刻  
 神橋あり此之は一月の逗留  
 よう相足なる也  
 右の外わんまん感毛と云ふ木の  
 多野と云ふ敏光を敏光控現

